

ほう まん ざん
**宝満山の
 ヒキガエル**

令和2(2020)年10月14日認定
 景観・市民遺産育成団体:宝満山ヒキガエルを守る会



標高829mながら急峻な山路の宝満山は福岡県内で屈指の人気を誇る山です。そんな宝満山では5月下旬から7月初旬にかけての梅雨時期、不思議な現象が見られます。それが体長わずか1cm足らずのヒキガエルの子どもによる登頂です。

宝満山中に生息するヒキガエルは2月頃、野々道池に降りて産卵を行い、10万以上とも言われる数の卵を産みます。卵は数週間で孵化し、池は無数のオタマジャクシで溢れます。3月に孵化したオタマジャクシは池で成長し、2〜3か月で子ガエルへと変態します。約1万〜10万の変態した子ガエルたちは池から上陸し、続々と最大標高差600m、道程約2.5kmの山頂を目指して登頂を開始します。子ガエルは途中から登山者と同じ登山道を通りながら一の鳥居、羊腸の道、百段がんぎ、中宮跡などのスポットを通過し、山頂の上宮を目指して、だいたい1か月かけて登頂します。

【主な育成活動】

- ・宝満山に生息するヒキガエルを観察する。
- ・産卵のために池まで下山する親ガエルたち、池から宝満山山頂を目指して登頂する子ガエルたちをサポートする。
- ・観察記録、登山記、物語等の発表、写真展、ビデオ上映会、観察会等の実施を通じて、宝満山の保護を訴える。

【物語の基礎となる主な文化遺産】

- ・宝満山
- ・宝満山のヒキガエル
- ・本谷池
- ・野々道池
- ・登山道
- ・百段ガンギ
- ・山頂17階段
- ・上宮付近



山を登る子ガエル



おたまじゃくしの群れ



ヒキガエルの卵



産卵のため下山する親ガエル

